

株主の皆様とのかかわり

適時開示／ディスクロージャーポリシー

ミネベアミツミは、法律・法令に沿って適時、適切な情報開示を行うとともに、ディスクロージャーポリシーを定め、積極的な情報開示に努めています。

株主の皆様とのコミュニケーション

株主総会の実施など

ミネベアミツミは、定時株主総会を毎年6月に開催しています。また、年2回報告書を株主の皆様へ送付することにより、当社の経営状況や方針などについての理解を深めていただけるよう努めています。

機関投資家とのコミュニケーション

IR活動においては、公正な株価の獲得を目標に、「経営トップ自らによる積極的なIR活動」「フェアでタイムリーな情報開示でサプライズを軽減」「一方的ではなく双方向の対話」を基本方針として取り組んでいます。

当社役員は、毎四半期に実施している機関投資家・アナリスト向け決算説明会のほか、海外ロードショーやIRカンファレンスなどに積極的に参加し、投資家と直接対話することを重視しています。機関投資家向けには、当社の強さの源泉である非財務の競争力などをご理解いただくために、海外工場視察会を実施しています。視察会では、参加された方々に超精密機械加工技術・大量生産技術をはじめとする当社の強みや、経営統合を通じたミツミ事業の生産性改善を実感いただけるようにしています。

フェアでタイムリーな情報開示の観点から、IR資料は基本的にすべて日本語と英語を同時に開示しています。また、決算説明会は同時通訳付きでライブで動画配信し、さらに質疑応答も含めたスクリプトをホームページ上で開示しています。

2018年度からは統合報告書を発行しています。これまでアニュアルレポートで伝えてきた財務・戦略情報に加え、より中長期的な視点での当社グループの考えと、それに紐づく重要な非財務情報を「価値創造ストーリー」としてまとめています。

株主の皆様への還元

ミネベアミツミは、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主

の皆様へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針としています。

2019年3月期は、売上高、営業利益、当期利益のいずれも過去最高を更新しました。これはボールベアリングを中心とした収益性の向上に加え、自動車・航空機向けビジネスの成長によるものです。これを受け、通期合計で1株当たり28円の配当を実施しました。

また、株主還元および資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行することを目的として、自己株式の取得を行っています。2019年3月期には、計630万株を約106億円で取得しました。

これらの結果、総還元性向は約37%となりました。

外部評価

ミネベアミツミの積極的なIR姿勢が評価され、2018年度、IR活動、IRサイトならびに統合報告書について以下の表彰・評価を受けました。

- 日本IR協議会 IR優良企業特別賞
- 大和IR インターネットIR 最優秀賞
- 日興IR 2018総合ランキング 最優秀サイト受賞
- 日興IR 2018業種別ランキング 優秀サイト受賞
- GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の国内株式の運用を委託している17の運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」、「改善度の高い統合報告書」に選出



今後の課題・目標

今後もIR活動の充実により、株主の皆様とのコミュニケーションの場を広げ、より多くの株主、投資家の皆様とミネベアミツミへの理解を深めていただけるよう取り組んでいきます。

特に、近年のESGに関する関心の高まりを受け、2018年度より発行している統合報告書を活用し、非財務情報を含めたコミュニケーションをより充実させていきます。



「ミネベアミツミグループ統合報告書」はこちらをご覧ください。
https://www.minebeamitsumi.com/corp/investors/disclosure/integrated_report/index.html